

茨木市音楽芸術協会コンサート
出演者オーディション参加者募集

《バラとオリブの調べ》に続く茨木市音楽芸術協会の企画制作によるコンサートシリーズの6回目は、楽器の王様(ピアノ)にスポットをあてて企画中です。このコンサートに出演していただけるピアニストを下記のとおり募集します。
●オーディション実施日:2002年6月26日(水)(開始時間は人数により決定します)
●オーディション会場:茨木市クリエイティブセンター・センターホール
●オーディション参加費:無料
●募集内容:①ピアノソロの部 ②ピアノ連弾の部
●応募条件:①ソロの部=茨木市音楽芸術協会会員または茨木市に在住、通勤、通学される方。②ピアノ連弾の部=茨木市音楽芸術協会会員または茨木市に在住、通勤、通学される方を含むデュオ。
*①②とも、2002年12月4日(演奏会本番)、12月3日(リハーサル)に出演できる方。
*年齢制限はありません。
*演奏会のチケット販売にご協力ください。(詳細はお問い合わせください)
●演奏曲目:①ピアノソロ=F.F.ショパン/F.リスト/C.ドビュッシー/M.ラヴェル 以上の作曲家の作品の中から10分以内の自由曲。なるべくポピュラーな曲が望ましい。時間以内ならば小品の組み合わせも可。但しソナタは除く。
②ピアノ連弾=C.サン=サーンス作曲「動物の謝肉祭」より 3,ロバ 6,カンガルー 14,終曲 の3曲。(楽譜は申込書受付後お渡します。本番では関西フルートオーケストラとの共演になります。)
*ソロ、連弾ともオーディション当日に演奏箇所を指定することがあります。
●審査員:高橋成典ほか
●その他:オーディションは一般公開します。
●応募締切:4月末までに、申込書を郵送またはFAXで下記までお送りください。
●申込・問合せ先:茨木市音楽芸術協会コンサート実行委員会
石原光世 〒567-0888 茨木市駅前四丁目1番17号
TEL・FAX 0726-22-9925

茨木市音楽芸術協会コンサート《主役はピアノ!》
2002年12月4日(水)午後7時
茨木市クリエイティブセンター・センターホール
第1部 ピアノ音楽の歴史
第2部 ピアノ連弾とフルートオーケストラによる
《動物の謝肉祭》(お話つき)
指揮:高橋成典 演奏:関西フルートオーケストラ

第25回新人演奏会出演者募集

●実施日:2002年5月30日(木) 午後7時
●会場:茨木市クリエイティブセンター・センターホール
●募集対象:茨木市に在住される方または出身の方で、本年3月に音楽系の大学(短期大学を含む)の課程を卒業される見込みの方。
●その他条件等:演奏時間は1人10分以内。審査は行わず、また主催者が出演者を選考することはありません。3月15日(金)までに下記までお申込ください。
●申込・問合せ先:茨木市教育委員会生涯学習部生涯学習課
〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号
TEL 0726-20-1686

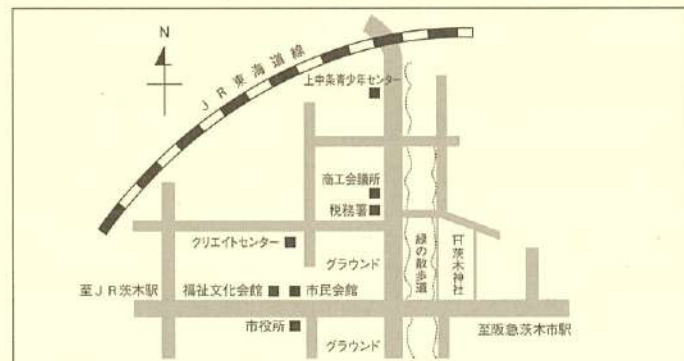
2002/2003公演カレンダー

(太字:主催公演 細字:共催公演)

- 【2002年】
2・3 モノレール沿線合唱フェスティバル(守口市ムーブ21)
2・10 日本の調べと茨木音頭(市民会館)
4・26 アンサンブル・デュ・ソレイユ~植野真知子と仲間たち
《古楽器によるバロック音楽への誘い》(クリエイティブセンター)
5・30 新人演奏会(クリエイティブセンター)
6 初旬 漫才今昔史(クリエイティブセンター)
6・23 全国盆踊りコンクール大会(市民会館)
7・6 五木ひろしアコースティックライブ(市民会館)
8 下旬 トワイライトコンサート(いばらき京都ホテル)
9・7 北野タダオ&アロージャズオーケストラ with 寺井尚子・越智順子(市民会館)
9 モンゴル音楽のタベ(クリエイティブセンター)
9・28 風を感じる午後のひととき~フルートによるオペラ名曲選(クリエイティブセンター)
10・5~6 うた芝居《五十鈴姫》(クリエイティブセンター)
10・8 ポーランド国立民族舞踊団「シュロンスク」(市民会館)
10・26 桂都丸茨木落語会(福祉文化会館)
11 劇団いばらき童子公演(クリエイティブセンター)
12・4 茨木市音楽芸術協会コンサート《主役はピアノ!》(クリエイティブセンター)

- 【2003年】
1・18 茂山狂言会~新春狂言(クリエイティブセンター)
2・2 ざ・じゃぱんね・こんざーと(クリエイティブセンター)
2 モノレール沿線合唱フェスティバル(守口市ムーブ21)
3・2 バリアフリーコンサート(市民会館)
3・23 茨木市音楽芸術協会クリエイティブコンサート(クリエイティブセンター)

*実施日等は変更させていただく場合があります。
*詳細は市広報誌等により順次発表してまいります。



天馬空を行く TENBA KUU wo IKU~2002年の午年に新たな誓いを込めて

感動をおくりたい! “やさしさと活力ある、文化の香り高い都市”をめざして

財団法人茨木市文化振興財団

理事長 大石善成

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 クリエイティブセンター1F
TEL 0726-25-3055/FAX 0726-25-3036

編集・発行/(財)茨木市文化振興財団 〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 クリエイティブセンター1F TEL0726-25-3055/FAX0726-25-3036

第35回公演

津軽、茨木、ふるさとの唄

日本の調べと茨木音頭~民謡 民舞 津軽三味線

芸術文化振興基金助成事業



津軽三味線:長谷川一義



日本民謡:大塚文雄

公演迫る!

2/10(日)15:00開演(14:30開場)

茨木市市民会館(ユーアイホール)大ホール

- 入場料
全席指定 1階席=3,500円 2階席=2,500円
◎65歳以上、24歳以下、障害者及びその介護者は500円引き
●チケット販売所
(財)茨木市文化振興財団 0726-25-3055
(クリエイティブセンター1F 月~金 9:00~17:15 土日祝休業)
ローソンチケット 06-6387-1900(Lコード53614)
※ローソン各店で直接購入できます
※ローソンでは割引の取り扱いはありません

(財)茨木市文化振興財団第35回公演

日本の調べと茨木音頭 ～民謡 民舞 津軽三味線

＊
2月10日(日) 15:00
茨木市市民会館(ユーアイホール)大ホール

＊
【第1部】
●長谷川一義～津軽の響き
津軽じょんがら六段、津軽じょんがら節、津軽よされ節、津軽あいや節、津軽小原節 ほか
津軽三味線：長谷川一義
唄：長谷川勝枝
尺八：木下三郎
太鼓：岩井一記、福原稔
●茨木で創りあげた創作民謡
茨木音頭、茨木童子
田邊朝鳳と茨木市民謡民舞同好連盟
長谷川一義社中

【第2部】
●大塚文雄～ふるさとの唄
最上川舟唄、会津磐梯山、山形タント節、新相馬節 ほか
唄：大塚文雄
演奏：長谷川一義社中
●グランドフィナーレ～花笠音頭

民衆のおおらかな表現として、生活の中で唄われ、今に受け継がれてきた民謡——
民衆の喜怒哀楽を満々とたたえ、生の証を未来へ伝えんとする民謡——

日本民謡と津軽三味線の第一人者を迎え、
私たちの街の創作民謡とのジョイントコンサートとして開催します

どうぞ、ふるさとの心に触れてください
生きるエネルギーがあふれています
そして、自分自身に出会ってください——

大塚文雄(おおつか・ふみお)



昭和15年、山形県に生まれる。
昭和29年、中学2年生の頃から山形県民謡グループ「あずま会」に入会し、本格的に民謡を学ぶ。
昭和34年、地元の高校を卒業後、プロとしての修行のため上京、初代・鈴木正夫の内弟子となる。

昭和36年、(財)日本民謡協会主催による全国大会に出場し、「新相馬節」を歌って優勝。

昭和40年、藤本瑠文に三味線と唄を師事し、三味線の名取「藤本秀頼」となる。

昭和41年、キングレコード専属となり、山梨県民謡「市川文珠／正調粘土節」でデビュー。

昭和48年、イスラエルにおける国際民族芸能祭に日本代表として参加。

昭和52年、郷里山形にて「大塚文雄リサイタル」を開催。

その後、(財)日本民謡協会文雅会会主として、民謡の指導、後進の育成に当たっている。舞踊歌謡として「祝賀の舞」を発表、後に大ベストセラーとなる。

昭和55年、民謡を歌って20周年、民謡の道ひとすじに歩んできた一つの区切りとして、有楽町「日本劇場」において3日間にわたる初の記念リサイタルを開催。

昭和56年、「サヨナラ日劇フェスティバル」公演として、民謡界を代表してワンマンショーを開催。

昭和58年、民謡歌手として、初の歌舞伎座リサイタルを開催。

昭和62年、民謡生活30周年、キングレコード専属20周年記念公演として2日間にわたり、新橋演舞場にて記念リサイタルを開催し、超満員で好評を得る。

平成2年、日本武道館にて「～おらあ！山形だよ！！～」公演、超満員で好評を得る。TBS-TV「街かどテレビ1100」で審査を担当。NHK-TV「ふるさと民謡まつり」の司会を岸千恵子と担当する。

平成4年、NHK-TV「ふるさと民謡まつり」の司会を坂本冬美と担当する。10月19日・20日、大井町・きゅりあん小ホールにおいて「大塚文雄・山形ひとり舞台～ふるさと讃歌・最上川～」を開催。

平成5年、第1回「民謡四人の会」原田直之・鎌田英一・藤堂輝明とチャリティショーを開催。

平成6年、細川たかしとNHK「二人のビッグショー～三橋美智也を唄う」で共演。

平成8年、2月3日東京・厚生年金会館大ホールにて記念リサイタルを開催。デビュー30周年記念公演を、東京・山形・大阪で開催する。デビュー30周年記念大塚文雄民謡大全集ベスト100曲を発売。

平成9年、「山形ねんりんピック '97」出演。テレビ東京「年忘れにっぽんのうた」出演。

平成10年、ミャンマー・ジャパンフェスティバル1998、アセアン創立30周年、ミャンマー建国50周年に「ヤンゴン国立劇場」にて日本代表として数々の民謡を唄う。

平成13年、7月22日「大塚文雄ひとすじの道35年」を、芝メルパルクホールでゲストに香西かおりを迎えて開催、超満員で好評を得る。「大塚文雄大全集200曲」を発売。

長谷川一義(はせがわ・かずよし)



青森県出身。
津軽三味線の地元の名人、長谷川竹太郎の長男として生まれ、津軽三味線の手ほどきを、父・竹太郎より受ける。
昭和45年、福士豊勝に師事。
昭和47年、五錦竜二に師事。
昭和50年、大阪の民謡酒場「春日」にて修行。

昭和51年、松竹芸能に所属。レオンレコード所属。
昭和53年、長谷川社中を結成。大阪と青森を拠点に活動。現在、関西の津軽三味線のトップとして国内だけではなく、海外公演も多く行い活躍中。

高度なテクニック、存在感のある津軽三味線の音色には定評がある。

長谷川社中を率いての独自のコンサートはもちろんのこと、その一方ではあらゆるジャンルの音楽に挑戦、ジャズやロックのミュージシャンとの共演も多い。

最近では、ロックベーシスト天野SHOとともに「和」と「洋」の世界「じょんがら&BLUES」に挑戦、新たなサウンドを見事に創り上げ好評を博すなど、意欲的な活動を展開している。

唄：長谷川勝枝



尺八：木下三郎



太鼓：岩井一記



太鼓：福原 稔



田邊朝鳳(たなべ・ちょうほう)



昭和5年、新潟県に生まれる。
昭和19年、日本国有鉄道(現JR東日本)に、学徒勤労令により入社。
昭和35年、邦楽に興味を持ち、杵屋佐多由のもとで三味線を修行。
昭和41年、梅若梅朝門下に入会し、民謡(三味線)の端緒となった。

昭和47年、日本国有鉄道(現JR西日本)を退社。茨木日本民謡同好会(茨木こだま会)を創立。以来、地域の文化・福祉・国際交流に貢献。

昭和60年、茨木市の民謡や踊りのグループを結集して、「茨木市民謡民舞同好連盟」を結成。

平成10年、地元茨木で全国規模の「全国盆踊りコンクール大会」を発売。

平成12年、産経民謡大賞「民謡功労章」を受賞。

茨木市民謡民舞同好連盟

昭和60年、茨木市内の民謡、民舞のグループが集まり、田邊朝鳳を会長として発足。

現在、加盟14団体、239名の会員を有し、12月の「チャリティ民謡民舞大会」の開催、「全国盆踊りコンクール大会」の運営、「茨木フェスティバル」や各「敬老会」等への出演のほか、姉妹都市アメリカ・ミネアポリス市や友好都市中国・安慶市への訪問など、市民の文化活動や国際交流活動の振興のため活発な取り組みを展開している。

茨木音頭

茨木市制施行(昭和23年1月)を祝って、吉原正義作詞、仲芳樹作曲、柴田好子振付により発表された。

昭和25年、大阪府主催の民謡大会で第1位となり、また、当時人気の小畑実の歌でレコーディングされるなどして、広く市民に普及していったが、最近では残念ながら踊られる機会もなくなっていた。茨木市民謡民舞同好連盟・田邊朝鳳会長がこの名曲の振りの復刻のため調査に尽力されたが、ついに発見ならず、このたび迫田多喜氏により新しく振り付けていただくこととなったものである。

瑞々しい歌声とバッハの芳醇に酔った “バラとオリーブの調べ”

昨年の10月23日、姉妹都市・内海町の50周年を記念して、茨木市音楽芸術協会とともに開催した「バラとオリーブの調べ」——、お陰さまでたくさんの皆様にお越しいただき、会場のクリエイティブセンターは満席となりました。

1部は、内海町出身のソプラノ・高橋薫子さんのリサイタル。茨木市には3度目の登場となる今回、ふくよかで瑞々しい歌声は、豊かな表現力とともに一層輝きを増し、聴衆を魅了しました。

2部は、茨木市音楽芸術協会によるステージ。音芸協副会長の磯野清さんの訳詞による「コーヒー・カンタータ」をメインに、バッハの名曲が並びました。大阪フィル・コンサートマスター岡田英治さんを客演コンマスに迎えた室内合奏団をはじめ、茨木市の音楽家の皆さんによって、バッハの深く芳醇な音楽世界が表現されました。プロの音楽家に伍して茨木混声合唱団も堂々の演奏でした。

アンコールには、高橋薫子さんにも加わっていただき、出演者全員でバッハと内海町のイメージソングを演奏しましたが、アンケートで「アンコールの曲名をロビーに張り出して欲しかった」というご指摘をいただきました。ステージからの紹介はあったのですが、ロビーへの張り出しを失念しており申し訳ございません。

バッハの曲は「主よ人の望みの喜びよ」、内海町イメージソングは「ハナカイドウ」と言い、「花海道」と書きます。この「花海道」は、内海町の40周年を記念して創られた曲で、伊藤アキラ作詞、小森昭宏作曲、原曲はボニージャックスが歌っています。

姉妹の都市が奏でたバラとオリーブの調べ——、両市町の友情の深まりを確認した一夜となりました。

茨木市音楽芸術協会の企画制作によるこのシリーズも、平成14年度は6回目を迎え、“主役はピアノ!”をテーマに、12月の開催に向け企画進行中です。どうぞ、ご期待ください。

